

この度、西脇市岡之山美術館は、「國久真有——  
絵画を生きる」展を開催いたします。

國久真有は1983年に大阪府に生まれ、画家として  
活躍を続け、2019年には、「第22回岡本太郎現  
代芸術賞展」特別賞を受賞するなど、身体と絵画  
が同期する独創的な表現の魅力が広く知られるよう  
になりました。

本展は、若い世代の現代美術家に焦点をあて  
た「アートの手」シリーズの第4回展として、自身  
の身体を軸にし、遠心力を活かして描く「WIT-  
WIT シリーズ」という絵画の系譜を中心に、空間  
や風景の光や陰翳を映像として捉えた絵画制作の  
ためのドローイングの仕事なども紹介します。

國久は、かつて具体美術協会の作家たちが追求し  
た絵画の仕事の成果を継承し、自らの身体の動き  
や感受性を活かして新しい空間の次元を探究しよう  
としているようにみえます。

國久自身が自らの身体に問いかけて生み出した、  
独創的な絵画の仕事や、近作を中心に紹介し、  
その魅力に迫ります。

#### 関連事業

[イベント・ワークショップ等]

詳細は決定次第ホームページ等でお知らせします。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>

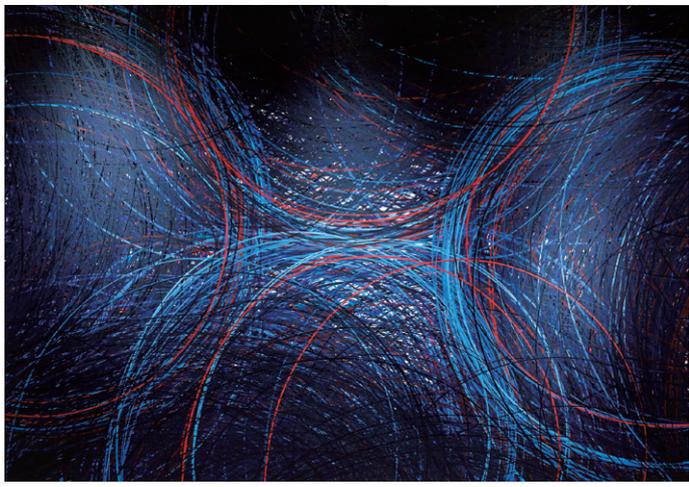
# 自身の身体を軸に遠心力を活かして描く、 独創的な絵画の仕事

公開制作 | 撮影 [中村脩] 提供 [新潟市芸術創造村・国際青少年センター (ゆいぽーと)]



《WIT-WIT BLUE WAVE》2021年 作家蔵 撮影 [中村脩] 提供 [新潟市芸術創造村・国際青少年センター (ゆいぽーと)]

主催 | 西脇市岡之山美術館 ([公財] 西脇市文化・スポーツ振興財団) 協力 | 神戸芸術工科大学山崎均研究室



《WIT-WIT BLACK BLUE》2018年 作家蔵 撮影 [M.Sato@october studios]



上2点 | 撮影 [國久真有]

アートの扉IV  
現代絵画・線と光をめぐる身体の内  
2022.4.10日 — 7.24日 10:00 から 17:00  
入館は16:30まで

Kunihisa Mayu Painting

休館日 | 月曜日 [祝日の場合は翌日] と祝日の翌日

※ゴールデンウィーク [4.29 (金・祝) から 5.5 (木・祝)] は休館なし

入館料 | 大人 300円 [250円] ・シルバー 250円 [200円]

高大生 200円 [150円] ・小中生 100円 [70円]

※ [ ] 内 20名以上の団体割引料金 ※障がい者割引有 ※ココロ  
カード利用可 ※にしわか経緯度地球科学館「テラ・ドーム」との共通券有  
※65歳以上の方は、年齢確認のできるものをご提示ください。

公益財団法人 西脇市  
文化・スポーツ振興財団

西脇市  
NISHIWAKI

岡之山  
OKANOYAMA

美術館  
MUSEUM OF ART



〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町 345-1  
東経 135度 北緯 35度 交差点 日本へそ公園内

TEL・FAX | 0795-23-6223

E-mail | [okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp)

HP | <http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>

Access | 電車 JR 加古川線「日本へそ公園」駅前

バス 大阪・三宮から神姫バス [西脇行き]

「西脇 [アピカ]」からタクシー 10分

自動車 中国自動車道・滝野社 IC から 15分